

とよなか国際交流センターおしらせ

VOL.90 とよなか国際交流センター広報誌 2016年10月



「一緒に。が楽しい」
福岡沙弥(大阪府立桜塚高校1年生)

とよなか国際交流センターからのおしらせピックアップ

問合せ・申込 とよなか国際交流協会(指定管理者) ☎06-6843-4343 (水曜、年末年始を除く毎日、9:00~20:00)

10/8 (土) 14:00~16:00

10/20(木) 18:30~20:30

新たな多文化共生の地平をめざして~とよ

なか国際交流センターの過去・現在・未来

【第1回(10/8)】「とよなか国際交流協会と私~協会の役割と可能性について考える」講師:雨森孝悦さん(日本福祉大学教授)

【第2回(10/20)】「外国人の“非対称性”への気づき~転換期から見てきたものとこれからの国流」講師:榎井縁(大阪大学大学院特任准教授)、金相文(前事務局長)、山野上隆史(現事務局長)

主催:とよなか国際交流協会 共催:豊中市

10/22(土)9:00~14:30

おまつり地球一周クラブ

~韓国朝鮮・おでかけ編

生野コリアタウン(大阪市生野区)を散策しながら、韓国朝鮮文化を学ぶ。

対象:小学生、10人(保護者同伴可)

参加費:実費(昼食代、交通費)

先着順(要申込)

(※参加費は記載がないものは無料、場所は、記載がないものはすべてとよなか国際交流センターです)

11/1,8,15(火)14:00~16:00

にほんごボランティア養成講座

外国人の現状を知り、ボランティア活動での大切な視点について学ぶ

対象:講座に3日間参加でき、終了後月曜午前、木曜午後、金曜午前、日曜午前のいずれかにボランティアとして活動できる人。各定員5人。

参加費:1000円

申込:10月17日(月)9時から来館または電話にて受付、先着順

9月10日（土）、第2回とよなか国際交流フェスタ「世界と出会おう！ふれ合おう！味わおう！」が当センターで行われました。このフェスタは、普段、センターで活動している登録グループやとよなか国際交流協会が、活動内容について広く市民に知ってもらったり、国際交流に親しんでもらったりするためにに行っているものです。

実施に当たっては、登録グループ、協会等がメンバーとなって実行委員会を立ち上げ、テーマや内容、広報などについて、検討・準備を進めてきました。みんなで分担して用意したプログラムは、登録グループ



登録グループの発表。太極拳で精神を統一！

の活動発表、世界の食べ物や飲み物・お菓子などの販売、バザー、リサイクル本の販売、子どもの遊びコーナー（民族楽器や民族衣装、世界の文字で名前カード作り、魚釣り）や茶道体験など、本当に盛りだくさん。

当日、人がたくさん来てくれるかどうかだけが心配でしたが、ふたを開けてみると、びっくりするぐらいの大にぎわいでセンターは熱気むんむん。料理コーナーでは人気のあまり、開始から30分で品切れになったお店もあったほど。当日は浅利市長、市議会議員の方々や地域の市民団体の方も多数来られ、活気あふれるフェスタの

雰囲気を楽しんでいただきました。

ちなみに、とよなか国際交流フェスタは豊中駅前前で実施される市民活動サロンの「ジャンプフェスタ」、エトレ豊中5階のすてっぷの「ライブラリー祭り」と同時開催をしています。豊中駅前全体がいつもにも増してにぎやかな一日でした。

フェスタが無事に終わって「ほっ」とするもつかの間、早速10月には反省会という形で次年度に向けた作戦会議を開始します。今年フェスタで楽しんだ方も、そうでない方も、ぜひ、来年のフェスタを楽しみにしておいてください。また、来年のフェスタでお会いしましょう！



エスニックの香りに誘われ、世界の食べ物のコーナー也大盛況でした



民族衣装・楽器のコーナーは子どもでいっぱい！



Vamos! (第2回)

ネルソン百合子

小学校外国語体験活動、若者支援事業、日本語交流活動等のコーディネーター&ボランティアとして活躍していた、スリランカにルーツを持つネルソンさんが2016年4月よりブラジルに留学しています。ネルソンさんからの便りをどうぞ！

みなさん、お久しぶりです。ネルソン百合子です。ブラジルに来て半年経ちました。私のまわりの人たちは「あつという間だね」と言いますが、私にはすごく長く感じます。もう1年ぐらいブラジルにいる気分です。

6月末まで北東部のオリンダという街に住んでいました。前回のコラムで、「7月からどこで何をしているか分かりません」と書きましたが、実は今もこれから何をするか分かっていません。。8月に南部のクリチバという街に引っ越してそこの語学学校に入りましたが学校が合わないのと、他の街にも住みたくなって、今このコラムを書いている間は、次にすることを考えています。みなさんがこれを読んでる頃には住む場所もやることもちゃんと決まっていたらいいんですが。。

そんなブラジル生活ですが、時間はたっぷりあるので、国内をよく旅行していま

す。現実逃避です(笑)。飛行機で移動するのが一番便利ですが、私はいつも突然行き先を決めるので航空券が高くて買えません。そこで思いついたのが長距離バス旅行です。航空券の半額以下の値段で、10倍ぐらいの時間をかけての移動です。これまでに移動した距離は約6000キロ、バスで過ごした時間は合計すると1週間ほどになります。日本で私はほとんど長距離バスに乗ったことがないので比較ができませんが知り合いによると座席はブラジルのバスの方が快適だそうです。

ただこの長距離バスものすごいスピードで走るのもものすごく揺れます。シートベルトをしていないと、座席から飛び出しそうになります。事故も多いようで、ブラジルの道路状況に詳しい人にはとても心配されます。でも、長い時間をかけて、ブラジルの広さを体験するのは私は好きです。最初のころは乗るのが少し怖かったです

が、だんだん慣れてきて、今では用事でバスターミナルの近くに来て出発のアナウンスを聞くだけで「あ、またどっか行きたい」と思ってしまう。

バスから見える景色のほとんどが田園か草原か牧場です。本当にブラジルは広いなと感じます。到着時間を勘違いして真夜中に目的地に着いて不安な思いをしたりしましたが、長距離バス移動は、私のいい思い出です。と、このコラムを書いている今も26時間ぐらいかけてブラジルに移動したところです。帰りは、何で帰るのでしょうか。。。(笑)

今回は、あまりちゃんとした報告ができませんでしたが、いろいろなことが起きていろいろ考えるブラジル生活、あと少し頑張ってみようと思えます。それではみなさま、またお会いしましょう！



長距離バスから見た朝日

ご報告 ボランティア研修を実施しました

9月2日（金）とよなか国際交流センターで活動される日本語ボランティアに向けての研修「日本語ボランティア研修～ボランティアのための外国人にまつわる基礎講座」を行いました。生活者として地域で生きる外国人のことを知っていただくための企画で、講師は前事務局長・金相文で、参加者は39人でした。

在日3世である講師自身の話をベースに体験談を挟みながら、日本で生活している外国人が日本に来た歴史を時代とともに振り返り、日本で暮らす外国人の『三つの壁』（言葉の壁、法・制度の壁、心の壁）から実情についてクイズ形式で話しました。

日本語のわからなかったオモニ（母）が、夜間中学で日本語を学び、文字が読めることで「社会が明るくなった」との言葉は、外国人の人たちが日本語を学ぶことで感じる気持ちそのものだと思います。これからもボランティアの皆さんの活動に役立つ研修を企画したいと思っています。



研修会の様子

ご報告 ブックトークinとよなか国際交流センター「家族写真をめぐる私たちの歴史」を実施しました

9月24日（土）の午後、センターにて「ブックトークinとよなか国際交流センター『家族写真をめぐる私たちの歴史～在日朝鮮人、被差別部落、アイヌ、沖縄、外国人女性』」を開催し、執筆者を含む48人が参加しました。このおしらせに毎月コラムを寄稿してくださっている皇甫康子さんが中心となって執筆した同著の出版にあわせ、皇甫さんはじめ執筆者7人と編集・助言をされた萩原弘子さん（大阪府立大学）、岡本有佳さん（編集者）から作成にまつわる背景やエピソードを伺い、来場者と共に意見交流を行いました。同著は24人の執筆者それぞれの家族との関係、被差別体験を含む様々な生き方と出会い、マイノリティの視点からみた現代社会を学ぶことができる内容です。当日も様々な問題提起があり、来場者とも活発な話し合いができました。



執筆者からの発言の様子



なんぢや・カンチャ・言わせてもらえば（第90回）

『家族写真をめぐる私たちの歴史』初のトークイベント

皇甫康子（ふぁんぼ・かんぢや）

6月中旬に出版した本、『家族写真をめぐる私たちの歴史』は、9月現在までの売り上げが千冊を突破しました。大手書店を回ると、女性問題や人権問題の棚に一冊だけ見つけたり、リクエストしないと出してくれなかったりとガッカリしていたのですが、友人や知人が宣伝してくれ、地元の教員をはじめ、大阪府外国人教育研究協議会に集う教員、授業に行かせてもらった学校など、たくさん購入してくださり本当にうれしいです。若い仲間からは、24人の一編一編がはじめて知ることばかりで、「在日」の友人のことを何も理解していなかったことに気が付いたという感想や、目の前にいる外国にルーツを持つ子どもや親たちの気持ちを受け止めることができそうだという、頼もしい感想も。

「在日」の先輩からは、自分と同年の女性を本の中に二人見つけ、共通の経験を思い出し、ただの記録写真だと思っていた家族写真が故郷の親族に送る現況報告だったことにはじめて気が付いた。執筆者一人ひとりが「私こそ歴史の主人公」という気概を示していて胸がすく思いだった、という手紙が寄せられました。また、家族写真を撮らなかった家族の事情を綴ったものや、家族写真がほとんどないことに気が付いたという人がいたり、福島の地元で、戦争中にいた朝鮮

人の記憶を祖父から初めて聞いたという人がいたりしました。そして、自分たちにもこんな本が作れるのではと、希望をもったという感想もあります。

9月22日、神戸市新長田駅近くの神戸コリア教育文化センター・カフェ「ナドゥリ」で、出版後、初のブックトークが開催されました。2014年に設立以降、「長田在日大学」や「在日」の生活史に焦点を当てた写真展など、地域に根ざした活動や講座を開催し、多様な人たちが集い語り合う場が「ナドゥリ」です。代表理事の金信鏞さんは保護者会を結成し、95年には校外の公的施設で民族学級「オリニソダン（子どもの書堂）」を開設。2004年には神戸市で初めての校内民族学級が神戸市立蓮池小学校にでき、2010年には須磨区のだいち小学校にも設置されています。1990年頃、池田で保護者会を結成し、民族子ども会「ケグリの会」の活動を開始したときに、キム・シニョンさんと出会いました。

定員30人を超える参加者が雨の中、集ってくれました。遠方から駆けつけてくれた人もいて、トークも盛り上がりました。シニョンさんの写真展のお話から、1937年創業の「平常冷麺」のお店の写真や、屑物や屑金物などを買い集める商売「よせや」の写真、北への帰還運動時に新潟港で写したチマ・チョゴリ姿の

写真などを観ることができ、写真に写っていない事実思いを巡らせました。

今回のワークは写真が少なかったので、参加者全員で自分と朝鮮半島との関わりや「在日」との出会いなど、コメントを年表に貼りつけるという作業にしました。「在日」の仲間は、祖父母が日本に来た年代からはじまります。私もそうですが、自分の一族がいつ日本にきたのか、正確な資料がありません。祖父母の記憶が頼りですが、亡くなってしまったら、確かめることもできません。コメントを書きながら、もっと話を聞いておけば良かったと後悔する姿もありました。「高校の時に友人から『在日』だと告白され、衝撃を受けた」とか、「1992年に長田マダンと出会った」という、日本人たちの活動のきっかけや、「父親が戦争中、ゴム靴工場で朝鮮語の通訳をしていた」「釜山が生まれ故郷」など、朝鮮半島との意外なつながりについてのお話も興味深かったです。

うれしかったのは、交流会で「在日」の若い後輩たちと、本名を名乗ることについて、これからの民族教育のあり方、他の外国の人たちとの関係性などを語り合えたことです。本を読んだ人たちと、元氣になれないこれからの悲観するのではなく、背筋を伸ばして生きることの大切さを確認していきたいです。

とよなか国際交流センターの事業について

定例事業(以下すべて参加費は無料です)

国際交流に関する情報の収集および提供事業

センター内の「ふれあい交流サロン」にて、子ども、おとな向けの書籍をお借りいただけます(多言語絵本もあります)。また、様々な媒体で定期的に日本語、多言語で情報発信を行っています。

国際理解推進事業

子ども、おとなを対象とした多文化共生・国際理解の勉強会を随時行っています。「おまつり地球一周クラブ」「市民セミナー」「世界を食べよう」「多文化・多言語セミナー」等

在住外国人に対する支援事業

「子ども母語」 第2・4日曜日10:00~12:00

・母語学習(中国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語)を通じて仲間づくり、居場所づくりをしています。幼児・小学生・中学生・高校生が参加しています。スタッフも外国にルーツをもつ学生です。

「学習支援サンプレイス」日曜日13:00~15:00※第1日曜除く

・日本語と学習支援の活動を通じて子どもたちの居場所づくりをしています。小学生・中学生・高校生が参加しています。ボランティアは大学生で、外国にルーツをもつ大学生ボランティアも多数参加しています。

「多文化保育にこにこ」 木曜日13:30~15:30、金曜日10:30~12:00

・外国にルーツを持つ就学前の子どもたちが、さまざまな人と出会い、社会性を身につけるづくりをしています。他…

在住外国人に対する相談事業

夫婦関係DV、在留資格、行政手続き、医療、労働、教育、子育て、人間関係等、何でも相談できます。面談でも、電話でもOK。秘密厳守!

毎週金曜日11:00~16:00 (電話06-6843-4343)

対応言語:フィリピン語・タイ語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・英語・ネパール語・ポルトガル語・日本語

国際交流活動への住民の参加促進事業

留学生ホストファミリー事業ほか、日本語交流活動にも数多くの市民がボランティアとして参加しています。

日本語交流活動

「もっともっとなつかえるにほんご」月曜日10:00~12:00
 「とよなかにほんご・木ひる」木曜日13:30~15:30(保育活動あり)
 「とよなかにほんご・金あさ」金曜日10:30~12:00(保育活動あり)
 「にちようかちやがちやだん」日曜日10:00~12:00※第1日曜除く

地域の外国人とボランティアが会い、日本語交流を通じて生活に必要な日本語を学び、豊かな人間関係を築く場をつくっています。

「おかまち・おやこでにほんご」(場所:岡町図書館)
 「しょうない・おやこでにほんご」(場所:庄内図書館)
 「せんり・おやこでにほんご」(場所:千里図書館)
 火曜日10:00~12:00

乳幼児を抱えて家にこもりがちな外国人女性が子どもを連れて安心して集い、交流・情報交換ができるママづくりの場を図書館の協力のもとで実施しています。運営ボランティアも子育て中の女性です。

…その他、市民参加型のイベントや人権や多文化共生に関する講座、対話の場なども実施しています。また、ボランティアについてのお問合せや国際交流団体の運営相談にも随時対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

施設管理に関する業務:貸室について

★駅前で便利!★ 会議やイベントにぜひご利用下さい。

センター貸室使用申込み…受付時間:開館日の午前9時から午後8時まで
 会議室、料理室、音楽・健康づくりルーム、和室、プレイルーム、ギャラリーを初めてご使用になる場合は、事前の登録が必要になりますので、お問合せ下さい。

とよなか国際交流センター貸室使用料金表

部屋名	広さ (m ²)	定員 (人)	料金 (円)				設備
			午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	全日 9:00~21:30	
会議室1	41	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(小)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室2A	34	21	480	600	520	1,600	
			2,400	3,000	2,600	8,000	
会議室2B	65	48	840	1,120	1,000	2,960	
			4,200	5,600	5,000	14,800	
会議室2C	33	21	440	560	520	1,520	ホワイトボード(2ABC2BCを一室として使用する場合は不可)
			2,200	2,800	2,600	7,600	
会議室3	55	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(大)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室4	63	30	840	1,080	960	2,880	ホワイトボード(小)、流し台
			4,200	5,400	4,800	14,400	
会議室5	27	12	360	480	400	1,240	ホワイトボード(大)
			1,800	2,400	2,000	6,200	
和室	38	18	480	680	560	1,720	10畳
			2,400	3,400	2,800	8,600	
ギャラリー	18	-	240	320	280	840	壁画ガラスケース、ピクチャーレール
			1,200	1,600	1,400	4,200	
プレイルーム1	57	20	880	1,160	1,040	3,080	子ども用トイレ
			4,400	5,800	5,200	15,400	
プレイルーム2A	43	15	680	880	760	2,320	子ども用トイレ、畳(一部)
			3,400	4,400	3,800	11,600	
プレイルーム2B	52	18	800	1,040	920	2,760	子ども用トイレ
			4,000	5,200	4,600	13,800	
音楽・健康づくりルーム	113	40	1,480	2,000	1,760	5,240	アンプ/マイク(必要な機材の費用は各使用者負担)、ビデオ、カセット、CD、MD、マイク、壁面鏡、更衣室(ロッカー、洗面台)
			7,400	10,000	8,800	26,200	
料理室	90	30	9:00~13:00	13:30~17:30	18:00~21:30	9:00~21:30	調理台6台のうち昇降式調理台2台、準備室(ロッカー)、洗面台、ホワイトボード
			1,720	1,720	1,560	5,000	
			8,600	8,600	7,800	25,000	

備考 1. 2区分にわたって継続して使用する時の使用料は、それぞれの区分の料金の合計額とします
 2. 料理室の使用区分のみ、料理室枠内の記載時間とします
 3. 上段:国際交流目的で使用する時の料金(内容審査あり)、下段:その他の活動で使用する時の料金
 4. 使用時間には、準備、後片付けの時間を含まず(時間厳守)
 5. 鍵は時間の5分前からお渡しできます。その際「使用承認書兼領収証」を必ずご提示ください

国際交流の活動を応援します!

登録グループ制度についてのご案内

とよなか国際交流センターでは「登録グループ制度」を設置し、国際交流の活動に組織的かつ継続的に取り組む方々の自主的な活動推進のための支援を行っています。

登録グループへの支援内容(一部)

- ・国際交流目的で貸室を毎月2コマ(午前・午後・夜間のいずれか1室につき1コマ)まで無料で使用できます。
- ・センター内の掲示板で情報提供できます
- ・印刷機が無料で使用できます(紙は要持ち込み)

・センター内のロッカーが無料で利用できます。…など

その他、登録グループになるための要件、登録後の役割等については「登録グループ制度要項」に詳細に記載しています。豊中市のウェブサイトからもダウンロードできますので、ご関心のある方はご覧下さい。https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/kokusai/tourouguru-pu.html

もしくは、当センターの受付でも入手可能ですので、お問合せ下さい。

「登録グループ活動紹介」の冊子をセンター受付にて無料配布中です!



～地域や学校での国際理解教育にお役立て下さい!～

各国の民族衣装などを貸出します!

豊中市の公的教育機関は貸出料無料! 詳細はHPもしくはお電話にてお問合せ下さい。

【お問合せ】 TEL 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

とよなか国際交流協会(指定管理者)

Facebook! ほぼ毎日更新中! 「公益財団法人とよなか国際交流協会」で検索!

開館時間: 午前9時~午後9時30分 / 業務受付時間: 午前9時~午後8時 休館日: 毎週水曜日、年末年始

アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分(阪急梅田駅から急行で11分)

地下3階に有料駐車場有り(210台)、1階に有料駐輪場あり(自転車・バイク)

編集・発行 公益財団法人とよなか国際交流協会(とよなか国際交流センター指定管理者)

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-601 とよなか国際交流センター

E-mail: atoms@a.zaq.jp http://www.a-atoms.info



●アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分